



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月12日

上場会社名 中日本鋳工株式会社 上場取引所 名
コード番号 6439 URL <http://www.nakachuko.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 鳥居 良彦
問合せ先責任者（役職名） 管理部 部長（氏名） 加藤 俊哉（TEL） 0563-55-4477
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	3,638	△2.5	△53	—	△30	—	△149	—
2025年3月期第3四半期	3,731	△14.7	△85	—	△83	—	△87	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△67.11	—
2025年3月期第3四半期	△38.59	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	9,208	2,973	32.0
2025年3月期	9,136	3,112	33.7

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 2,944百万円 2025年3月期 3,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,000	2.9	△50	—	△54	—	△163	—	△73.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	2,306,300株	2025年3月期	2,306,300株
2026年3月期3Q	82,490株	2025年3月期	82,257株
2026年3月期3Q	2,227,283株	2025年3月期3Q	2,257,180株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(表示方法の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、期末にかけての中国インバウンド需要の急減や物価上昇の継続など、個人消費への影響が懸念されました。また、米国の通商政策を巡る不透明感による国内景気の下振れリスクもあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

海外においても、地政学リスクを背景としたエネルギー・原材料価格の高止まりに加え、中国・欧州経済の低迷長期化、米国の通商政策への警戒感などから、世界的に景気の下振れ懸念が拭えない状況となりました。

鑄造業界におきましては、米国の高金利政策に伴う建設機械市場の在庫調整完了により、期首には回復の兆しが見られたものの、現在は通商政策等の不確実性から市場全体が静観姿勢にあります。主原料の鉄スクラップおよび銑鉄価格については、前期からの下落傾向が底打ちの様相を呈しております。

一方で、鑄物副資材やエネルギー価格の高騰に加え、人件費上昇に伴う輸送費負担も増加しており、経営環境は引き続き厳しい状況にあります。このような状況下、当社は積極的な提案型営業による受注確保に注力するとともに、生産効率の向上と品質改善を継続し、収益性の改善に努めてまいりました。

このような経営環境の中で、当社の2026年3月期第3四半期累計期間の業績は、売上高は3,638百万円（前年同期比93百万円減、2.5%減）となりました。利益面につきましては、営業損失53百万円（前年同期営業損失85百万円）、経常損失30百万円（前年同期経常損失83百万円）、四半期純損失149百万円（前年同期四半期純損失87百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①鑄物事業

売上高は、産業機械関連向けの部品をはじめとして全ての部品の需要が減少したことにより3,464百万円（前年同期比92百万円減、2.6%減）となりました。利益面につきましては、生産性向上及び製造諸経費の削減等、収益改善に努めましたが、営業損失は140百万円（前年同期営業損失162百万円）となりました。

②不動産賃貸事業

売上高は107百万円（前年同期比2百万円減、1.9%減）となりました。営業利益は45百万円（前年同期比1百万円増、2.5%増）となりました。

③発電・売電事業

売上高は66百万円（前年同期比1百万円増、2.2%増）となりました。営業利益は41百万円（前年同期比8百万円増、25.5%増）となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第3四半期末における総資産は、9,208百万円（前年度末比71百万円の増加）となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加188百万円、電子記録債権の増加65百万円、仕掛品の減少76百万円等により3,975百万円（前年度末比99百万円の増加）となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具の減少95百万円、土地の減少94百万円、投資有価証券の増加132百万円、貸倒引当金の増加159百万円等により、5,233百万円（前年度末比27百万円の減少）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の減少30百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加138百万円、賞与引当金の減少31百万円等により、1,877百万円（前年度末比172百万円の増加）となりました。

固定負債は、長期借入金の増加48百万円等により4,356百万円（前年度末比38百万円の増加）となりました。

純資産の残高は、2,973百万円（前年度末比139百万円の減少）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期会計期間における業績の進捗を勘案して見直しを行った結果、2025年11月13日に発表しました2026年3月期通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2026年2月12日に公表しております「非連結子会社の解散及び清算、特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,268,141	2,456,489
受取手形及び売掛金	467,414	483,337
電子記録債権	408,478	473,629
商品及び製品	115,247	116,118
仕掛品	390,113	313,715
原材料及び貯蔵品	52,886	54,931
その他	173,233	76,811
流動資産合計	3,875,515	3,975,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,068,259	992,763
機械装置及び運搬具（純額）	832,016	736,603
工具、器具及び備品（純額）	43,935	58,633
土地	2,146,423	2,051,503
リース資産（純額）	121,452	114,034
建設仮勘定	28,395	120,554
有形固定資産合計	4,240,483	4,074,092
無形固定資産		
ソフトウェア	10,945	9,680
ソフトウェア仮勘定	—	6,222
無形固定資産合計	10,945	15,903
投資その他の資産		
投資有価証券	497,999	630,124
関係会社長期貸付金	45,510	159,040
その他	465,800	512,883
事業整理損失引当金	—	△159,040
投資その他の資産合計	1,009,309	1,143,008
固定資産合計	5,260,737	5,233,004
資産合計	9,136,253	9,208,039

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	289,486	258,910
電子記録債務	270,685	250,748
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	867,057	1,005,079
リース債務	28,107	30,604
未払金	96,466	82,240
未払費用	57,973	82,321
未払法人税等	1,363	2,045
賞与引当金	62,467	31,159
その他	21,347	124,771
流動負債合計	1,704,955	1,877,881
固定負債		
長期借入金	3,894,351	3,942,512
長期リース債務	104,876	94,108
繰延税金負債	150,312	161,643
役員退職慰労引当金	122,272	121,966
その他	46,507	36,202
固定負債合計	4,318,320	4,356,433
負債合計	6,023,276	6,234,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	2,572,860	2,572,860
利益剰余金	428,552	267,943
自己株式	△44,273	△44,358
株主資本合計	2,987,139	2,826,444
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96,237	117,680
評価・換算差額等合計	96,237	117,680
新株予約権	29,600	29,600
純資産合計	3,112,977	2,973,724
負債純資産合計	9,136,253	9,208,039

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,731,513	3,638,124
売上原価	3,392,908	3,307,050
売上総利益	338,605	331,074
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	151,499	152,948
給料及び手当	59,512	57,119
その他	213,195	174,472
販売費及び一般管理費合計	424,207	384,540
営業損失(△)	△85,601	△53,465
営業外収益		
受取利息	535	2,488
受取配当金	9,551	17,077
助成金収入	8,728	1,153
補助金収入	—	14,633
為替差益	161	14,050
その他	6,070	12,633
営業外収益合計	25,047	62,037
営業外費用		
支払利息	23,393	38,892
その他	—	285
営業外費用合計	23,393	39,178
経常損失(△)	△83,948	△30,606
特別利益		
固定資産売却益	6,690	40,447
補助金収入	—	45,892
特別利益合計	6,690	86,339
特別損失		
固定資産処分損	3,427	6,423
投資有価証券評価損	2,811	—
関係会社株式評価損	—	17,217
事業整理損失引当金繰入額	—	159,040
減損損失	1,557	777
事業整理損	—	16,715
特別損失合計	7,797	200,173
税引前四半期純損失(△)	△85,054	△144,440
法人税等	2,045	5,048
四半期純損失(△)	△87,099	△149,489

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

(表示方法の変更)

(四半期損益計算書)

前第3四半期累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「為替差益」につきましては、金額の重要性が増したため、当第3四半期累計期間より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の四半期財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書において「営業外収益」の「その他」に表示していた6,231千円は、「為替差益」161千円、「その他」6,070千円に組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	鑄物事業	不動産賃貸事業	発電・売電事業	計	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,556,793	—	65,098	3,621,892	3,621,892
その他の収益	—	109,621	—	109,621	109,621
外部顧客への売上高	3,556,793	109,621	65,098	3,731,513	3,731,513
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,556,793	109,621	65,098	3,731,513	3,731,513
セグメント利益	△162,942	44,374	32,965	△85,601	△85,601

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

鑄物事業セグメントにおいて将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において、1,557千円であります。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	鑄物事業	不動産賃貸事業	発電・売電事業	計	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,464,026	—	66,537	3,530,564	3,530,564
その他の収益	—	107,560	—	107,560	107,560
外部顧客への売上高	3,464,026	107,560	66,537	3,638,124	3,638,124
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,464,026	107,560	66,537	3,638,124	3,638,124
セグメント利益	△140,328	45,500	41,362	△53,465	△53,465

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

鑄物事業セグメントにおいて将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において、777千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	214,387千円	224,849千円